

*解禁前の情報につき、お取り扱いには部内秘扱いにてお願い致します。

劇場版
TOKYO MER
走る緊急救命室 MOBILE EMERGENCY ROOM



2021年夏——

日本中を熱くさせた、あの救命チームが帰ってくる

一秒の遅れも許されない、高度救命救急の現場に導入された『機動救命救急チーム』=MER (Mobile Emergency Room)。彼らの使命は大都会・東京で日々巻き起こる災害・事故・事件などあらゆる現場に駆けつけ、『命』を救うこと。

混乱する現場、最小限の医療設備…極限の現場で繰り広げられる
命を巡る壮絶な決断、死と隣り合わせの困難な治療——
自らを危険にさらしながらも、すべての命を救うため…
そして『理想の救命』をかなえる最高のチームを作るため…
彼らは今日も戦い続ける。

ドラマ版での「テレビ離れしたスケール感」がさらにパワーアップ！
ドラマを超える興奮と感動——劇場版MER、出動します！

〈タイトル〉 劇場版 TOKYO MER 2023 ～走る緊急救命室～ (仮)

〈配給〉 未定 2023年公開予定

〈撮影時期〉 2022年6月～8月予定

〈出演者〉 鈴木亮平 他

〈制作〉 TBSテレビ

ロケ担当窓口:クレデウス 野口 080-5402-5076 kobitoband@yahoo.co.jp

【物語の概要】

1年半前、都知事直轄組織として誕生した医療組織 TOKYO MER は、厚生労働省の正式認可を受けた後、現在も都知事直轄組織として運営されている。一方、厚労省の MER 推進部 MER 統括官となった音羽尚は、MER システムの全国展開を目指している。そんな中、白金の後任となった両国隆文・厚生労働大臣の肝入りで、ついに第二の組織・YOKOHAMA MER の設立が決定し、実験運用が始まった。

TOKYO MER は喜多見幸太が、引き続きチームを率いている。涼香の死から間もなくして、喜多見は自分を支えてくれた元妻の高輪千晶と再婚。現在、妻の千晶は妊娠9か月。すでに産休に入っている。唯一の家族だった妹を失った喜多見だったが、新たな家族の誕生を心待ちにしている。比奈や夏梅、チームのメンバーも、喜多見の幸せを心より祝福していた。

そんな中、横浜のランドマークタワーで大規模火災が発生する。神奈川県より TOKYO MER にも応援要請が入り出動するが、協力どころかライバルチームとして対立することになる東京と横浜 MER。混乱する現場、火災の炎はタワーの上層部に広がり続ける。そのタワーの中に、大勢の人々とともに妊娠中の千晶がいることが判明。喜多見は、妻か子供か、それとも他の人々か、どの命を救うべきか究極の選択を迫られることになる。